

市民建産常任委員会報告書

平成28年2月29日

委員長 高原 伸二

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、平成28年2月2日、5日に関係部課長の出席を求め委員会を開催いたしました。また、平成28年2月16日に海津木苑、古賀水再生センター、浄水場の市内視察を実施しました。

市民部

環境課

環境整備係より、第2次古賀市環境基本計画に伴う環境報告書は、11月末に完了し、12月中旬にホームページにて公表とのこと。次に、ぐりんぐりん古賀(古賀市環境市民会議)について3件の報告とグリーンカーテンの匠事業について等の報告があり、畜犬に関しては、12月末現在3,290頭の登録があり、注射頭数は2,112頭、注射率は64.19%となっているとのこと。

ごみ対策係より、循環型社会形成推進事業では、家庭系ごみについて、分別に対する市民意識アンケート調査の報告、事業系ごみでは、事業所訪問事業所数は37事業所で、基本的に2回まわるとのこと。続いて、剪定枝チップ機購入費補助、生ごみ処理機購入補助、まちづくり講座等、3件の報告がありました。バイオマス発電については、バイオマス資源のエネルギー利用に向け、事業化への可能性について委員会形式での検討方法をとっており、全部で4回の検討委員会を開催する予定であり、これまで3回が終了しているとのこと。

海津木苑より、処理状況及び維持管理費について、平成27年4月から12月までの搬入量、処理にかかる薬品使用状況の報告、放流水の水質検査結果は、廃棄物処理法の基準値及びセキスイの保証値以下との報告に続き、施設整備工事について報告があり、し尿処理将来構想については、本年度専門の業者へ委託し、策定を行っているが、し尿及び浄化槽汚泥の将来搬入推計量を作成するためのデータ収集において、下水道計画及び将来人口との調整などに不測の日数を要したことから、工期の延長手続を現在行っているとのこと。

委員から、河川の水質汚染で、平成26年度の調査全件でBODが基準をオーバーになった、今も汚濁は進んでいるのか、また改善されているのかとの間に、今年度は天候等に気をつけて調査したところ、ほとんどの河川で基準の超過は見られず、おおむね良好で推移をしており、現在4回中3回分が終わっているとのこと。

1人当たりのごみの排出量目標値がまだ達成できてないという現状で、どのように目標達成していくのかとの間に、この目標についてはかなりハードルが高いと認識しているが、なるべくそこに近づけるような形での対策、取り組みをやるべきだと思っており、これまでのやってきたことをさらに精査して、もっとやれるものはないのか、あるいは新しくできるものはないのか、ごみ処理基本計画の見直しも含めて、今後検討することになるとのこと。

人権センター

人権教育・啓発係より、人権尊重週間の取り組みについて、尊重週間中に開催するいのち輝くまち☆こが2015の取り組みについて、古賀市社会「同和」教育推進協議会の取り組みについて、相談事業について、出前講座と人権の花運動について報告がありました。

委員から、中東で活躍されている古賀西小学校出身の中村哲先生が、古賀市の中で講演が決定したという話を聞いたが、あるとすればいつごろなのか、どういう形でされるのかとの間に、現在連絡をとっている状況で、社同推のセミナーで実施するように内部検討しており、まだ決定していない。海外での活動もされていることから、日本に滞在される期間が短く、慎重に日程調整、内容調整を行い、改めて社同推役員会で承認された上で市民に周知をしたいとのこと。

収納管理課

収納管理係より、平成 27 年度の市税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納状況（12 月末日現在）について、次に、滞納処分実績状況の説明がありました。

委員から、市税の収納率を、平成 28 年度には 98%にするという前期基本計画の目標の達成見込みはどうかとの間に、徴収実績としては目標達成している状況とのこと。

後期基本計画の 5 年間に向けての目標はとの間に、収納率をいかに落とさないようにしていくか、大きな目標で言えば自主財源率を落とさない、その目標に向かって進みたいとのこと。

市税課

市民税係より、税の申告について、還付申告が 2 月 2 日から 2 月 9 日までの間、イオンモール福津で開催され、古賀市では、2 月 12 日金曜日から 3 月 15 日まで行う予定。今後、税務署や近隣市町村の状況を見ながら受付体制の変更等も随時行っていきたいとのこと。

市民国保課

人口については（12 月末）、古賀市総人口及び世帯数ともに前月に比べ微増となっているとのこと。次に、外国人国籍別人口について、住民基本台帳カードの交付枚数について報告があり、続いて国民年金ほか各種制度対象者数について報告がありました。

その他として、平成 28 年繁忙期における市役所窓口休日開庁予定として、3 月の 27 日、4 月の 3 日に午前 10 時から午後 2 時まで行う予定とのこと。

委員から、マイナンバーの申請が始まったが、申請件数並びに問題点、改善点があるのかとの間に、申請者数が 1 月 25 日締めわかっているだけで 1,657 件。想定される問題点としては、個人番号カードを交付するに当たり、1 人当たりにかかる時間が 30 分と想定しており、現在 1,600 人程度申請されているので、逆算するとかなりの日数がかかる。また、2 月、3 月、4 月、5 月と、市民係の繁忙期にあたり、市民への対応を現在検討している状況とのこと。

建設産業部

農林振興課

農林振興係より、6 款 1 項 3 目農業振興費関連、6 款 2 項 2 目森林保全費関連、7 款 1 項 2 目商工振興費の地域経済活性化事業費関連、農産物消費拡大事業等で、各々説明がありました。

また、その他として、1 月 23 日、24 日の寒波による被害について、コスモス館の受水槽にあるセンサーが寒冷の影響によって故障したために、一部期間水が出なかったが、現在は応急処置をして水が出る状態に復旧をしているとの報告がありました。

農政係より、6 款 1 項 2 目農業総務費関連、6 款 1 項 3 目農業振興費関連の説明があり、地域農地有効利用推進事業での「人・農地プラン」作成に向けた進捗状況は、谷山農区では、1 月 12 日に地元役員会でプランの素案について協議、2 月下旬にプランの素案を作成、また農区民の合意形成を予定。3 月にプランの検討会を開催し、今年度のプラン作成を目指していると

のこと。また、薦野農区では、1月31日にプランの概要について説明しているとのこと。

農林土木係より、6款1項5目農地費関連について、県営事業の説明と、市単独事業についての説明がありました。

委員から、耕作放棄地改良工事に関連し、市民農園等方策は進んでいるのか。また、今後の計画があるのかとの間に、市民農園について相談は受ける状況ではあるが、なかなか事業化に至らない、しかしマスタープランにもかかげているため、今後も推進していくとのこと。

人・農地プラン作成について、現在の全体的な進捗はとの間に、現在まで作成できている農区は、薬王寺・町川原・筵内・青柳・米多比・小山田の計6農区とのこと。

水道課

配水係より、前回以降の委託及び工事発注状況について、5件の完了した配水管布設工事と1件の中止事業について、また進捗率90%の配水管布設替工事につき報告がありました。

そして、寒波による水道管関係の被害について、2月4日時点での古賀市内の被害状況は、配水管関係が1件、個人給水管関係については、古賀市管工事協同組合加盟店の修理施工件数で水道給水が216件、井戸給水が173件、合わせて389件とのこと。

浄水係より、前回の委員会以降の工事状況について、平成27年度花鶴揚水機場導水ポンプ設置工事について進捗率70%の報告がありました。

委員から、春日那珂川水道企業団へ3月まで日量1,000トン融通するということだったが、4月以降はどういう形になるのかとの間に、春日那珂川水道企業団より、もう1年期間を延長してほしいという依頼文書をいただいております、平成28年の4月1日から29年の3月31日まで要請に応じる方向で対応したいと考えているとのこと。

市長の公約である水道料金30%値下げについて、現時点での進捗状況についてはとの間に、受水と浄水量のバランス、それに合わせた費用の算出、そこからの収支のバランスがどうなるのか、どういう経営状況が1番効率的になるのかは、いろんなシミュレーションを交えながら随時市長と協議を重ねている状況。その検討した内容の中で、また新たな疑問や検討材料を、シミュレーション等を重ねながら前回からも数度の協議を重ねているとのこと。

下水道課

下水道係より、公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置整備事業について報告があり、続いて、消化ガス発電設備実証実験について、これまでの経緯と、協定締結後の12月運転開始からの発電量等のデータ収集を行っている状況とのこと。

管理係より、下水道使用料改定に伴う、平成27年12月請求分使用水量等のお知らせ票の下水道使用料の誤表示について報告がありました。

委員から、消化ガス発電設備の実証実験について、最終的なデータを委員会へ報告する時期、実際に施設内で電気が使われているのかとの間に、最終的なデータの報告について、協定期間が平成28年8月31日までなので、データが全部そろった段階で考えているとのこと。電気は稼働した分に関しては、無償で場内利用しているとのこと。

商工政策課

企業支援係より、無料職業紹介所についての報告に続き、ふるさと就労促進事業について、平成28年1月22日現在で、26名、277万円の奨励金を交付する予定とのこと。古賀市企業立地促進条例施行に伴う27年度申請状況について（本社機能を市外から古賀市へ移転された企

業)の報告があり、平成28年度から全国の企業の情報を集める事業に着手したいとのこと。

商業観光係より、消費生活センターの平成27年12月までの9カ月間の実績が177件、前年同月比で69件の減となっているとのこと。なの花まつりについては、今回もJRウォーキングとの同時開催で、3月20日日曜日に開催予定とのこと。

委員から、無料職業紹介所の採用決定者数と新規求職者数が前年度の同時期と比較して上回っている、その要因についての見解はとの間に、就職を望む市民の考え方と企業、経営者の考え方を引き出しマッチングさせる、そういった日々の取り組みが繋がっているとのこと。

都市計画課

都市計画係より、平成27年度の主な事業の、玄望園雇用創出基盤整備計画事業は、玄望園地区への企業誘致を促進させるための方策として、スマートインターチェンジの設置の可能性を現在検討しており、今年度3月末までに、取りまとめをしている状況とのこと。次に、花見東地区公園整備事業について、現在、工事発注手続き中との説明がありました。

土地利用政策係より、空き家・空き地対策事業についての説明と、古賀市空家等対策協議会条例を3月議会に上程予定とのこと。

開発指導係より、高田地区地区計画区域内のガソリン給油スタンドに増築で水素ステーションを設置するという計画があり、古賀市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例13条による適用除外許可についての説明があり、引き続き高田土地区画整理事業について、進捗説明がありました。

委員から、空き家・空き地対策事業について、所有者アンケートの対象となった件数は何件あり、どの程度回答があったのかとの間に、アンケートの発送対象の件数は、おおよそ800件で、アンケートの回収状況は、おおよそ57.5%とのこと。実数、確定する戸数については、議会中の市民建産委員会にその報告ができるのではとのこと。

建設課

土木係より、公共土木事業について、11月の委員会から変更があった内容を中心に説明があり、JR千鳥駅東口駅前広場アーケード設計業務委託について、用地交渉が難航しており、年度内の発注が厳しくなってきたことから、平成28年度へ繰り越しの手続きをしているとのこと。花見松林線道路改良工事についても、用地交渉が難航中であるため、平成28年度へ繰り越しの手段中となっているとのこと。

次に、西鉄宮地岳線跡地の土地利用整備計画案について、古賀ゴルフ場から花鶴鉄道橋までは、今年度中に工事を完了予定、大根川右岸から福津市境までの南北約2.7キロの土地についての整備計画案の説明がありました。

管理係より、県事業の工事について、平成27年12月末現在で100万円以上の事業の計画及び完了状況、進捗状況について説明がありました。

地籍調査係より、谷山、古賀ダムの周辺区域の一筆地調査、測量を行い、今年度実施予定分については終了しているとのこと。

委員から、花見松林線道路改良工事について、1番大きな障害はとの間に、条件面において開きがありすぎたとのこと。

西鉄宮地岳線跡地の土地利用整備計画案について説明をとの間に、1番希望の多い道路、あるいは通学路の安全確保ということに重点を置き、今回の計画を作成しているとのこと。

以上、所管事務調査の概要報告を終わります。